

SPH1619

SPH1620

# 〈20kg 以下ガスボンベ〉屋外式ガスストーブ 【パラソル君】取扱説明書



ストーブヒーター暖房器具レンタル専門店

上州物産 株式会社

〒379-2166

群馬県前橋市野中町369-2

TEL：027-289-6080

FAX：027-289-6166

緊急連絡先：080-5643-7181

SPH1619

SPH1620

# IKEDAYA パティオヒーター SPH1619

## 取扱説明書



### 警告

もし誤った取扱いをされた場合には大変危険を及ぼしますので、この製品の使用者及び管理者の方は、この取扱説明の内容をじゅうぶん理解し、厳守してください。記載事項を守られない場合は、身体の怪我や製品の破損を及ぼします。

### 注意

- この製品とガスボンベの接続及び交換は、必ず資格を持つガス供給業者にご依頼ください。
- この製品の近くで、ガソリンなどの可燃性液体や、ガスの保管・使用・漏れが無いことをご確認ください。
- この製品を使用されないで保管されるときには必ずガスボンベは外してください。

### もしもガスの臭いを感じたら

- ガスボンベの元栓を閉めて、他の使用製品の全ての火を消してください。
- この製品の近くで、どのような電気製品もご使用なさないでください。
- ご使用設置場所の換気をおこなってからガス漏れの原因を調べてください。

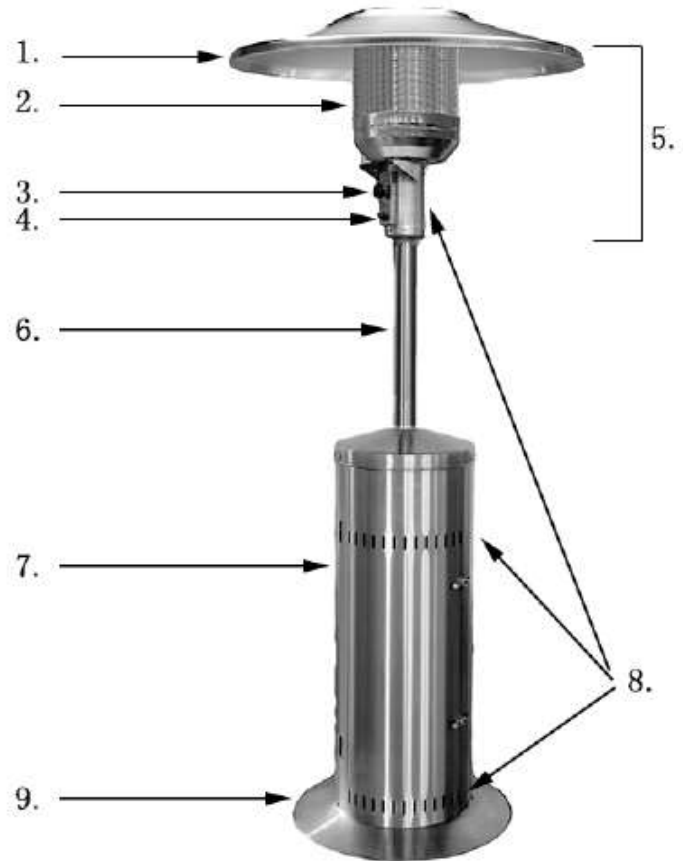
- この製品は屋外でのみご使用下さい。
- 製品の組立ては、この説明書に従いじゅうぶんど注意願います。
- この取扱説明書は保存して下さい。

# 目次

- 各部名称
- 安全にご使用いただくために
- ガスに火が点かない場合には
- 【20Kg 以下パティオヒーター】 組立方法
- 設置方法
- 点火操作
- 消火操作
- 長期レンタル時のメンテナンス・清掃
- トラブル時の対処方法
- 【20Kg 以下パティオヒーター】 梱包方法
- 梱包時 PP バンドの使用方法

## 各部名称

1. リフレクター
2. バーナースクリーン
3. 器具栓ツマミ
4. 点火ボタン
5. バーナーユニット
6. センターポール
- 7.ハウジングケース
8. 吸気口
9. ベース



## 製品仕様

製品名	屋外式ガスストーブ	
サイズ	高さ 2100 mm × 幅 965 mm	
材質	ステンレス (ボディ、バーナー)・アルミ (リフレクター)	
供給燃料	LP ガス専用	
ガス消費量	11.7kW	
安全機能	転倒時自動消火装置・立ち消え安全装置	
技術基準	液石法に定める P S L P G マークラベル貼付	
保証期間	お買上の日から 1 年間	
販売元	有限会社いけだや【本社】 〒 969-1169 福島県本宮市本宮小原田 15 【関東支社】 〒 361-0011 埼玉県行田市荒木 2315	Tel:0243-33-4383         Tel:048-501-8637

# 安全にご使用いただくために

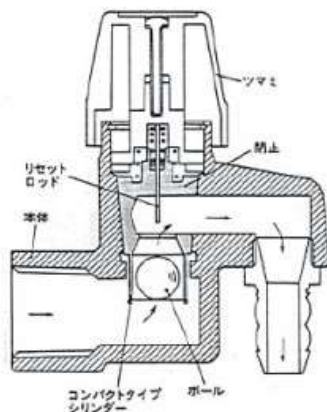
この製品は屋外でのみご使用いただけます。

誤った取扱い・ご使用は、怪我や死または物的損害を引き起こしますので  
ご使用前にこの説明書を必ずお読みください。

- ※この製品に使用する燃料は、必ずプロパンガスをご使用ください。
- ※可燃物または可燃性液体や可燃性気体の有る近くではご使用なさないで下さい。
- ※ご使用前に、お買上げ製品の部品（燃焼バーナーなど）に損傷がないかご確認ください。
- ※この製品を動かす場合には、必ずボンベの元栓を開めて下さい。
- ※部品の位置を変える等、いかなる改造も行わないで下さい。
- ※この製品は地盤のしっかりとした平らな場所に設置してください。
- ※設置の際に水平器などを使用して製品に傾きがないかご確認ください。
- ※屋外使用にあたり、常に新鮮な空気の換気があることを確認してください。
- ※引火性の有るまたは腐食性を及ぼすクリーナーはご使用なさないでください。
- ※本体及びリフレクターに塗装はなさないで下さい。
- ※製品をご使用なさない時には必ずガスの元栓を閉じてください。
- ※雨や雪の当たる場所ではご使用なさないで下さい。  
また雨や雪の当たる場所への長時間の放置はなさないで下さい。
- ※製品を叩いたり製品に寄り掛かったりしないでください。
- ※可燃性の壁・天井からの距離は必ずお守りください。  
**壁からの最低距離 ー100センチ 天井からの最低距離 ー100センチ**
- ※少なくとも1年に1回はバーナースクリーンを取り外し、異物や生き物が入り込んでいない事を確認してください。
- ※におい・スス・炎の色等異常を感じた時は、直ちにガスの元栓を閉め、ご使用を中止してください。
- ※製品上部のバーナーおよびリフレクターは大変高温になっていますので、ご使用される方は周囲に注意を呼びかけてください。
- ※付属の錠前と乾電池はご購入時の動作確認用ですので、確認後は別途お客様自身で用意したものをご使用ください。
- ※小さなお子様が製品の近くにいる時には、特に監督してください。
- ※布切れや可燃性の物をヒーターに掛けないで下さい。また近くに置かないで下さい。
- ※製品の燃焼部分の掃除には、ガソリンや可燃性スプレー・液体は使用なさないで下さい。
- ※燃焼部分や吸気口を塞いだりしないで下さい。
- ※ボンベケースの吸気口はいつも掃除し綺麗にしておいてください。
- ※ヒーターをガスボンベに接続する際は、必ず資格の有るガス供給業者様にご依頼下さい。
- ※ヒーターを室内に保管する時には必ず元栓を開めてボンベを取りはずして下さい。
- ※ヒーターの改造は、製品の安全性を阻害するものです。絶対になさないで下さい。
- ※梱包を開け部品取り出す際には慎重に取り出してください。

- ・製品ご使用前には必ず接続ネジの弛みを点検してください。
- ・急激な温度変化により製品接続箇所が弛む場合がございます。その際ドライバーを使用して軽く増し締めして下さい。
- ・リフレクターの接続ネジが弛みますと夜露や雨水がバーナーに侵入し不具合の原因となりますので、定期的に弛みがないか確認してください。
- ・スクリーン部分は通常熱せられると、金色または茶色に変色しますが、製品の性能に影響を及ぼすものではありません。
- ・製品の換気口が塞がれた状態でない事を常に確認してください。
- ・蜘蛛や虫はヒーター消火後の内部に残ったガスの臭いを好み集まってきます。バーナー内部に侵入した虫や蜘蛛の巣は、バーナーの不完全燃焼やフラッシュバック、点火不良を引き起こす場合がございます。年に一度はバーナースクリーンを取り外し、バーナー周囲をブラシや掃除機を使用して綺麗にする事を心がけて下さい。

## ●ガスに火がつかない場合は？



お客様が用意したプロパンガスボンベには通常上記の様なガスコックが付いていますが、このガスコックの中には図の様な安全装置が付いています。

(過大な流量のガスが流れるとボールが押し上げられてガスを遮断します。ラムネの瓶のビー玉をイメージしてください)

レンタル頂いた弊社のガス機器に火がつかない場合の多くは、お客様に用意して頂いたプロパンガスボンベの安全装置が働き、ガスが遮断されている状態となっている事が考えられます。

この安全装置は一度プロパンガスボンベのガスコックを閉じる事でリセットされます。ガスホースをガス機器つないでコックを開けても火がつかない場合は

1. 弊社からレンタルしたガス機器のガスコックを一度全部閉じる。
2. プロパンガスボンベのガスコックを一度閉じる
3. 閉じたプロパンガスコックのコックを再び開ける
4. 弊社からレンタルした機器のガスコックを開けて火をつける

上記の順番を試してください。

※ ガス機器のコックを開けたままプロパンガスのガスコックを開けると、抵抗無くガスが流れるためにプロパンガスボンベの安全装置が働きガスを遮断する場合があります。



# 【20Kg 以下ガスパティオヒーター】

## 組立方法

①	 <p>リフレクター    ボンベケース</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ガスパティオヒーターは 2 個口でのお届けになります。</li></ul>
②		<ul style="list-style-type: none"><li>・ボンベケースの中に部品が入っています。フックを外して中の部品を取り出してください。</li></ul>
③		<ul style="list-style-type: none"><li>・ボンベケースの上にセンターポールを差し込んでください。</li></ul>
④		<ul style="list-style-type: none"><li>・センターポールの下部、4 箇所にワッシャーとナットを締めてください。</li></ul> <p>付属のスパナでしっかりと締めてください。</p>


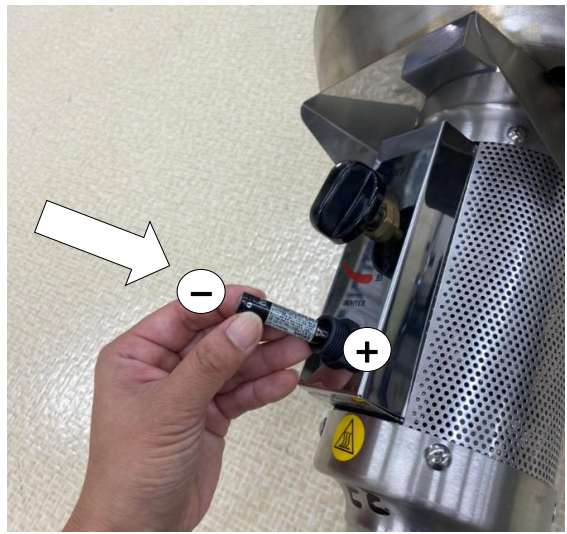



⑤		<ul style="list-style-type: none"> <li>• ガスボンベケースをあげ、中からガスホースの細い方を【下から上に】通します。</li> </ul> <p>センターポール上部からガスホースを出してください。</p>
⑥		<ul style="list-style-type: none"> <li>• センターポール上部から出したガスホースを、バーナーユニットに接続してください。</li> <li>• バーナーユニットを地面に置く際はユニット下部に砂や芝生等の異物が入らないよう気をつけてください。点火できず故障の原因になります。</li> </ul> <p>※ガスホースはプラグにカチッと音がするまで押し込んでください。</p>
⑦		<ul style="list-style-type: none"> <li>• バーナーユニットを、センターポール上部に差し込んでください。</li> </ul>
⑧		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 3箇所をワッシャーとネジで留めてください。</li> </ul> <p>付属のドライバーでしっかりとネジを締めてください。 (六角レンチの場合はスパナを使用してください)</p>

<p>⑨</p>	 <p>バーナー ユニット</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パティオヒーターを傾けて、バーナーユニット上部の3箇所が付いているキャップナットとワッシャーを取り外してください。</li> </ul> 
<p>⑩</p>	 <p>リフレクター</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リフレクターをバーナーユニットにはめて、3箇所のワッシャーとキャップナットを締めてください。</li> </ul>
<p>⑪</p>	 <p>リフレクター</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>最後に付属のスパナでしっかりと締め込んでください。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>組立て完了です。</li> </ul> <p>ガス供給会社にガスボンベの接続を依頼してください。</p>

# 【20Kg 以下ガスパティオヒーター】

## 電池の入れ方

①		<ul style="list-style-type: none"><li>• 点火ボタンのつまみを回し、キャップを外してください。</li></ul>
②		<ul style="list-style-type: none"><li>• 電池を入れます。 (+) から入れてください。</li></ul>
③		<ul style="list-style-type: none"><li>• キャップを閉めて完了です！</li></ul>



## 設置方法



- この製品は屋外でのみご使用ください。
- 周囲に可燃性の壁や天井がある場合には、外周からの壁・天井との間隔は最低 100cm 以上離して下さい。(但し壁面材質によっても異なりますので、じゅうぶん安全な距離をご確認願います。)
- 設置される床面は必ず平らで水平な場所に設置して下さい。
- この製品は国内技術基準に従い 20 度に傾けても倒れないようにウェイトバランスをシリンダーベースに取り付けてありますが、強風等の外的要因または人的要因からの転倒防止を保証するものではありません。
- キャスターホイールを使用してこの製品を移動させる場合には補強金具及びガスボンベは必ず取り外してください。
- 強風時にはこの製品をご使用なさらずに安全な場所へ移動させて下さい。
- このヒーターをご使用になられていない時はボンベの元栓を締めた後、付属のロックワイヤーをハウジングボディ側面のフックに通し、錠前でロックしてください。

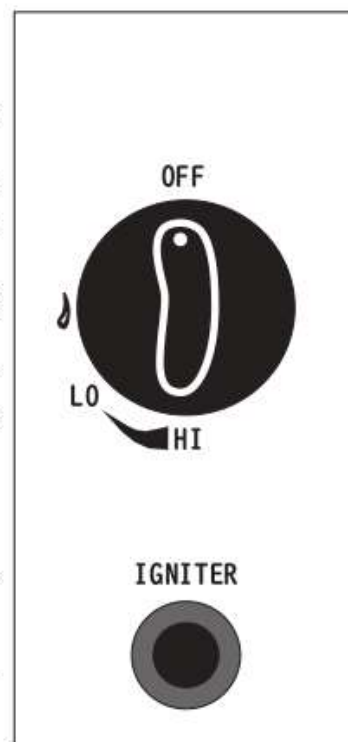
不特定多数の人達が入り出りする場所にてこの製品をご使用される場合には、管理者または取扱い責任者を決めていただき、万が一不慮の天災・事故や製品に異常を感じた時には、直ぐにガスの元栓を閉める事ができるようにお願い致します。

## 点火操作

- 1, 器具詮ツマミがOFF位置に有るのを確認したらガスボンベの元栓をゆっくりと開けます。
- 2, 器具詮ツマミを押して反時計回りに回し、器具詮ツマミを押したままの状態点火ボタン (IGNITER) を押すと放電スパークによりバーナーに点火します。
- 3, 点火を確認したら点火ボタンを離し、器具詮ツマミは押したままの状態5秒保持してから器具詮ツマミを離します。
- 4, 点火ボタンを押し続けても5秒以内に点火しない時または、器具詮ツマミを離すと火が消えてしまう時には、器具詮ツマミをOFFの位置に戻し、1分以上待ってから再度2から始めます。
- 5, 器具詮ツマミを反時計回りに回し火力を調節します。

※お買上時初めてご使用される時には、最低10分間スクリーンを熱してから、火力をゆっくりと上げてください。

※点火ボタンを押した時に、放電スパークがおこなわれない時にはライターを使用して点火する事も可能です。



## 消火操作

- 1, 消火する時には器具詮ツマミを押して時計回りにOFFの位置まで回して消火を確認してください。
- 2, ガスの元栓を閉めてください。

## 長期レンタル時のメンテナンス・清掃

- ・この製品は常にきれいにすることを心がけてください。
- ・修理を必要とする場合には、専門の技術者にご依頼願います。
- ・部品交換を必要とする時には、発売元にお申し出下さい。
- ・メンテナンスの際は、必ず消火後40分以上経過し、じゅうぶんヒーターが冷めている事を確認して下さい。またガスの元栓は必ず閉めて下さい。
- ・清掃をする際、可燃性のもの、腐食を及ぼすクリーナーはご使用なさないで下さい。
- ・この製品は、ステンレスが使用されています。ステンレスは、塩化物と硫化物の作用を受けて酸化したり錆びたりする傾向があります。特に沿岸地域や、プール、温水浴槽の近くではご注意ください。この為、錆の着色防止と除去をおこなうには、3-4週間おきに真水で洗うか、ステンレス専用クリーナーをご使用下さい。但しバーナーユニット内には水を掛けないで下さい。
- ・この製品の表面をきれいにするには、ぬるま湯で溶いた中性洗剤をご使用願います。絶対に研磨クリーナーやスチールウールはご使用なさないで下さい。洗浄後、再度真水で洗い流し拭き取って乾燥させてください。

# トラブル時の対処法

## ① 黄色やオレンジの炎で燃えている

- ・製品の吸気口が塞がっている  
→塞いでいるものを取り除いてください。
- ・異物がバーナー内部に浸入して詰まっている  
→スクリーンを外し、バーナーを清掃してください。

### 原因と対処

## ② 点火ボタンを押してもパチパチとスパークの音がしない

- ・乾電池の消耗  
→新しい電池に交換してください。

### 原因と対処

## ③ バーナーの火力が弱い

- ・ガス不足  
→ボンベ内のガスの残量を確認してください。
- ・異物がバーナー内部に浸入して詰まっている  
→スクリーンを外し、バーナーを清掃してください。

### 原因と対処

- ・ガス圧力調整器の低流量  
→点火の操作を正確に行ってください。  
ボンベの元栓を開けるときには必ず器具栓ツマミは必ず OFF の位置になければなりません。  
また圧力を等しく導くためにボンベの元栓はゆっくり開けてください。

## ④ 一度点火するがツマミを離した時に火が消える

- ・サーモカップル（熱センサー）の劣化  
→発売元に修理を依頼してください。

### 原因と対処

その他の異常やご不明な点がございましたら直接販売元までお問い合わせください。



# 【20Kg 以下ガスパティオヒーター】

## 返却時の梱包手順

①		<ul style="list-style-type: none"><li>• ガスパティオヒーターを分解してください。</li></ul>
②	 <p>リフレクター      ボンベケース</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 返却は 2 個口になります。</li></ul>
③		<ul style="list-style-type: none"><li>• バーナーユニットをもとの小さい箱に入れてください。</li></ul>
④		<ul style="list-style-type: none"><li>• バーナーユニットを入れた箱をボンベケースに収納してください。</li></ul> <p>扉はしっかり閉めてください。</p>

⑤		<ul style="list-style-type: none"> <li>• PPバンドを2本引いて、四角い箱をのせてください。</li> </ul>
⑥		<ul style="list-style-type: none"> <li>• ボンベケースを箱に入れてください。</li> </ul> <p>ボンベケースの車輪が、箱の角にくるように入れてください。</p>
⑦		<ul style="list-style-type: none"> <li>• センターポールをエアパッキングで巻いてください。</li> </ul>
⑧		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 備品を入れた袋と、エアパッキングで巻いたセンターポールを箱に入れてください。</li> </ul> <p>このとき、取扱説明書も入れてください。</p>
⑨		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 上箱をかぶせて、PPバンドを留めてください。</li> </ul> <p>PPバンドのとめ方は取り扱い説明書最終ページにある「梱包時PPバンドの使用法」にてご確認ください。</p>

⑩



- リフレクターを幅が狭い箱に入れてふたを閉めてください。

▼返却用の伝票を指定の位置に貼り付けてください。  
返却用伝票は弊社にてご用意させていただきます。  
梱包の箱に貼り付けてあります。

お届け時の伝票の下にある赤い伝票が  
返却用の伝票です。



# 梱包時PPバンドの使用法

①



輪をつくる。

②



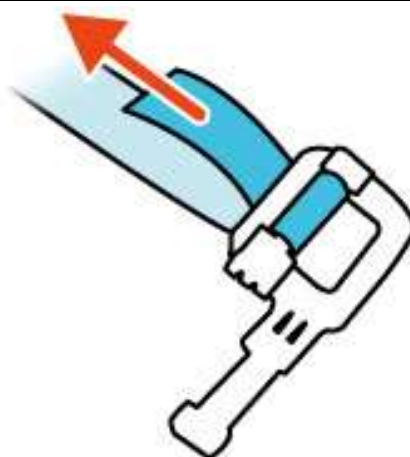
つくった輪をストッパーに通す。

③



1本の足を輪の中に折りたたむ。

④



バンドを矢印の方向に引っ張る。

⑤



荷物に回したもう片方のバンドも同様に通す。

⑥



ひもを両端に引っ張り、しっかり締める。

※手順を参考にしても分からない場合は、緊急連絡先(080-5643-7181)にご連絡ください。